

令和4年3月14日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (2 番)

森田 二郎



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨 (具体的に)	質問の相手
1 若桜町総合計画、若桜町総合戦略の町政への位置づけについて	総合計画は、町政がたどり着きたい未来ビジョン実現に向けての道のりを表すものと考えます。この総合計画と総合戦略は、未来ビジョンとの関わりも含め、町政へ位置づけや関係性が分かりにくく整理統合されていないと感じています。各課で実施される事業も整理統合し、行政内で共通理解の上で取り組まれることが必要と考えます。この点について町長のお考えを伺います。	町長
2 若桜町未来ビジョンの町政への位置づけについて	町長は多くの施策を第10次若桜町総合計画に盛り込むことを所信表明されましたが、それらの施策は最終的に目指す目的が明確でなければ、取り組みを具体的、効果的に仕掛けていくことは難しいと思います。この若桜町未来ビジョンを今後の町政にどのように位置づけられるのか、または新たに作成されるのかを伺います。	町長
3 未来ビジョン、総合計画・総合戦略に沿った事業評価について	総合計画や総合戦略の具体的な取り組みとして行われる多くの事業は本当に効果的なものか検証される必要があると考えます。検証される場合、KGI や KPI、または外部評価や外部監査を含め、事業評価をどのように実施されるのか伺います。	町長

若桜町議会議員（ 2 番 ）

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
<p>4 流出人口を食い止めるための、高校生以上の青少年層へのはたらきかけについて</p>	<p>所信表明において「農林業の人材育成や担い手確保、将来地元に戻って活躍する子供を増やすためのふるさと教育を進める。」と述べられました。現在、若桜学園の多くの児童生徒は将来も若桜町に住みたいと考えていると認識しています。流出人口を食い止める対策の一つとして、日野町の地元改革（JK）課などの取り組みを参考にしながら、町全体で今後、学園卒業後の高校生以上の若者が、地域づくりの一端を担える場づくりのはたらきかけを検討実施していくことが必要と考えます。町長のお考えを伺います。</p>	<p>町 長</p>